彩の国さいたま　ICTコンテスト　2018

アイディア部門

「とどくん」

～落とし物を届けるシステム～

グループ名　いぬねこきつね

〇システム説明

私たちが考えたアイディアは、落とし物をしてしまったとしても、無事に持ち主のもとに帰ってくるというものである。大まかに説明すると、持ち物に予めマーカーを付けておき、その物をなくしてしまったとき、拾った人が専用アプリでマーカーを読み込むと持ち主に連絡が届くというものである。

このアイディアを考えるに至った経緯は、このコンテストに参加しようと考えた際に、身近に困っていることがないか考えた結果、落とし物をした経験があることがチームであげられたことである。この文章を書いている私も、以前ペンケースを落としてしまったことがあり、駅や学校を探し回ったが、結局見つけることができなかったという苦い経験があった。そこで、落とし物をより効率的に探せるアプリがあったら良いと考え、このアイディアを考えるに至った。

ここからは、このシステムの具体的な内容を書いていく。このシステムは、まず、予め持ち主が、財布や傘などの、落としやすい物や落としてはいけないものにマーカーを付けておくことが必要である。このマーカーというのは、QRマーカーのような極力安価なものを利用するとし、専用のマーカーを購入あるいは専用アプリからマーカーを印刷できるようにする。そして、利用者がマーカーを専用アプリで登録することで、システムを使うことができるようになるものとする。

持ち主がマーカーを付けた物を落とすと、それを拾う人が現れる。拾った人はマーカーに気づき、スマホ、タブレット等で専用アプリを起動する（専用アプリはインターネットを通していつでもインストールできるものとする）。落とし物に付いているマーカーを専用アプリで読み取ると、落とし物が誰かに拾われたという通知が持ち主に届く。それと同時に、拾った人の画面には、GPSを使い地図が表示され、近くの駅や交番など、落とし物を届けることができる施設も表示される。そうしたら、画面の地図を頼りに施設へ行き、落とし物を届けることができるのである。落とし物を届け終えたら、地図上の、落とし物を届けた施設をタップすることで、持ち主に落とし物が届いた場所の情報が届き、そこへ行くことで無事に落とし物が持ち主のもとへ帰ってくるというシステムとなっている。さらに、掲示板機能を設けるなどすれば、より探しやすいものになるのではないかと考えられる。

このシステムは、落とし物の受け渡しを間接的に行うため、持ち主と拾い手が直接会わずに済み、個人情報やプライバシーを守ることができることが利点である。

余談ではあるが、この専用アプリのタイトルである「とどくん」とは、落とし物を「とどける」と、敬称である「くん」を掛け合わせたものである。これにより、アプリへの親近感が増すことや、「とどくん」という名前でマスコットキャラクターを制作できるといった利点があるのではないかと思い、この名前を考えた。

最後に、システムの大まかな概要図と、アプリの入出力イメージを下に記載する。

〇システム概要図

〇画面イメージ（スマホ、タブレット）

掲示板

情報呼びかけ

落とし物

交番、駅、専用ポスト等

落とし物

⑥受け取りに行く

届け先情報

➄画面上の地図の届け先を押す

➃交番等へ届ける

マーカー

➂交番等へ向かう

読み取り成功

交番等への地図

落とし物

➀落とす/拾う

拾われた連絡

地図表示

➁スマホで読み取る

拾った人

持ち主

物

通知

掲示板

拾った

戻る

コメント記入：

掲示板

戻る

QRコード読み取り

「掲示板」ボタン

「拾った」ボタン

タイトル画面

とどくん

持ち主の画面に通知が届く

読み取り後（拾った人の画面）

読み取り後（持ち主の画面）

通知

〇〇さんの傘は

××交番に届けられました。

〇〇さんの傘が拾われました。

戻る

通知

戻る

落とし物届け完了

ホームへ

届け先を押す

専用ポスト

〇〇交番

現在地

××駅

戻る

地図